

SDGsの理念に賛同しながら、
自然と共にする時間を、
より多くの人に届ける。



大都開発株式会社

片品村



- ▶ 代表者: 澤 生道
- ▶ 設立年月日: 1967年3月3日
- ▶ 資本金: 1,501万円
- ▶ 従業員数: 12人
- ▶ 住所: 利根郡片品村越本2990
- ▶ TEL: 0278-58-2161
- ▶ Mail: lifeandroad@katashinakogen.co.jp
- ▶ URL: <https://katashinakogen.co.jp/>

当社HPへは
こちらから→



企業紹介

当社は片品村の武尊山北東面に、かたしな高原スキー場および宿泊施設、レストラン設備の建設、運営を目的とし、過疎対策事業の一環として片品村の要請により昭和42年に設立。国土、自然環境の保全を図りつつ、首都圏在住者へ良質なレクリエーションの場を提供すると共に、地域雇用を創出することにより社会に貢献することを目的としています。社員数は12名ですが、冬期は臨時従業員を140名ほど雇用し地域の雇用対策の一助を担っています。

経緯・背景

マウンテンリゾートのなかで仕事を続けていくと、自然環境の変化に敏感になることができます。温暖化による少雪はもちろん、今までありえなかった時期に水芭蕉が咲き、農園を運営していくなかでの獣害も日に日に深刻になっています。

「自然と共にする時間を、より多くの人に届ける」をミッションに掲げる当社が、来場者に自然の素晴らしさを伝えていくなかで、これからも素晴らしい自然環境が残るように、なにかアクションを起こす必要があると感じ、SDGsの理念に賛同し実行に移すことにしました。

具体的な取組

- 1 **かたしな高原のサステナブルツアー**
地域の方々と連携し、自然体験、自然をフィールドにした遊び、そして自然に寄り添った人の営みを感じることができるツアーを毎月企画し環境問題がもっと身近になるように活動しています。
【地域の協力団体】
iikarakan, Bluebird Canoe, High Five Mountain Works, VARIVAS, FIELD EARTH 等
- 2 **ミッフィー農園の運営**
2012年より村内にある休耕地を再活用し約1ヘクタールの農地を自社で運営しています。年間20種類以上の野菜と果物を栽培し収穫したものは宿泊施設やレストランで使用しています。また、グリーンシーズンには滞在されるゲストに無料で収穫体験を提供することで、食育に関心をもっていただく機会を提供しています。
- 3 **各環境保護団体との協同**
「気候危機から冬を守る」をミッションに掲げた「Protect Our Winters Japan」の活動を2020年から支援・協同することで来場者への関心を高める活動を行っています。また、「ビジネスでの利益と損失は地球環境の健康状態にも直接関連する」ことを理解し、産業が与える社会的/環境的影響を懸念する企業同盟の「1% for the planet」に2014年から加盟し、当社が運営する会員システムの入会費用の1%を地域で活躍する草の根環境保護団体に寄付しています。
- 4 **再生可能エネルギーへの転換**
2021年から使用電力を再生可能エネルギーに段階的に切り替えていきます。

成果・効果

- 1) かたしな高原のサステナブルツアー
2012年から開始した各ツアーは合計750名以上の方に参加していただき、群馬県の自然の魅力を感じてもらいながら、環境問題がもっと身近になる経験をしていただいています。
- 2) ミッフィー農園の運営
野菜嫌いなお子様も自分で採った野菜は食べられるようになった等食育のきっかけになる機会を提供し続けています。
- 3) スタッフユニフォームの「Protect Our Winters Japan」のロゴを配することで、来場者への認知、および従業員への気候変動に対する認識が高まりました。
- 4) 第1段階として、2021年4月からかたしな高原スキー場、かたしな高原ホテル、チャイルドロッジの全使用電力のうち30%を再生可能エネルギーに切り替えます。



当社にとってのSDGsと、その展望

米国のマウンテンリゾートでは約10年前にサステナブル部署が設立され、降雪機の効率利用やリゾート内のゴミ循環等を行っていたが、現在はマーケティング部署の上に立ち、全体のブランディングをリードしていると聞いています。近い将来、国内でも集客やマーケティング、ブランディングにおいてSDGsの視点が核になってくると考えているため、今後当社ではSDGsの考えを軸に様々な取組を積極的に行っていきたいと考えています。